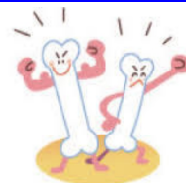




うしくり通信



骨粗鬆症の検査



要 介護・寝たきりなどの大きな要因である骨粗鬆症の診断と治療には、正確な骨密度の検査は欠かすことができません。

当 院では最新の骨密度検査装置を使って専門の放射線技師が測定し、血液検査によって現在の骨代謝の状態を把握し、患者様それぞれにあった骨粗鬆症の予防方法・治療方針をご指導します。

【最先端技術の骨密度測定とは】

従 来の骨密度測定検査では超音波による測定だったり、測定部位が踵や前腕でありましたが、当院の最新型骨密度検査装置は**DEXA(デキサ)法**を用いた正確な骨密度測定を行っています。

D EXA法とは、微量なX線をあてて正確な骨密度を測定する、日本骨粗鬆学会のガイドラインにおいて推奨される最も優れた検査方法です。この方法は従来の方法のように手の骨で測定するのではなく、骨折しやすい腰椎(腰の骨)と大腿骨(股関節の骨)を直接測定し、より正確な診断をすることができます。

検 査は検査寝台に寝ていただくだけで行えます。痛みや苦痛は全くなく、測定時間は1分もかかりません。

【骨代謝マーカー測定の意義】

骨 密度検査で骨粗鬆症の診断をし、血液・尿検査によって骨代謝マーカーを測定することで骨代謝の状態を把握し、今後の骨密度の変化を予想または治療効果を判定することができます。

骨 代謝回転亢進の程度が高いほど骨密度の減少が大きくなるのみならず、骨密度に関係なく骨折の危険性が高まることから、骨粗鬆症性骨折のリスク評価としては骨密度検査とともに、現在のところ**骨代謝マーカーが骨折リスクの優れた指標**と考えられています。

【骨代謝マーカーの種類と評価】

骨 代謝マーカーには、骨形成マーカーと骨吸収マーカーがあり、骨代謝回転の高い場合には積極的な治療が必要であると判断でき、また、病態にあった効果的な薬剤選択が可能です。

実 際には、骨吸収が亢進している症例には**骨吸収抑制剤**を選択し、骨吸収の亢進の程度が少ない場合には、その他の薬剤による治療を考慮します。したがって、薬剤選択に迷う場合には骨代謝マーカーの評価が大変参考となります。



骨 粗鬆症の病態に基づいた治療をすれば骨密度の増加や骨折防止効果が大きく、高回転骨粗鬆症の方のほうが、骨吸収抑制剤による骨密度の増加が大きいことがわかっています。